

平成 27 年 8 月 31 日

長崎県立大学	
担 当	シーボルト校 総務企画課企画グループ 藤井
電 話	095-813-5500

長崎県立大学「国際社会学部開設記念フォーラム」の開催について

本学は平成 28 年 4 月の学部学科再編において、国際社会学部を開設します。

これに先駆け、「グローバル時代の地域メディア～その未来と可能性～」と題して、ケーブルテレビが制作した話題作の上映及びメディア専門家、ケーブルテレビ制作者によるパネルディスカッションを行う記念フォーラムを開催します。

つきましては、下記のとおりお知らせいたします。

記

長崎県立大学国際社会学部開設記念フォーラム

- 開 催 日：平成 27 年 9 月 12 日（土）13：30～16：00
場 所：長崎県立大学シーボルト校 中央棟 M103 講義室
（西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1）
テ ー マ：グローバル時代の地域メディア～その未来と可能性～
参 加 費：無料
申 込 み：不要

※詳細はチラシをご覧ください。

～長崎県立大学国際社会学部開設記念フォーラム～

「グローバル時代の地域メディア」 ～その未来と可能性～

高度化、ネットワーク化、グローバル化と進化を続けるケーブルテレビ。最新の話題作の上映とメディアの専門家、ケーブルテレビ制作者によるパネルディスカッションを行います。

日時

平成27年 9月12日(土) 13:30～16:00

会場

長崎県立大学シーボルト校 中央棟 M103講義室

プログラム

1. 第40回日本ケーブルテレビ大賞グランプリ受賞作の上映
「語り継ぐ土崎空襲 ～終戦前夜の悲劇～」(秋田ケーブルテレビ制作)

2. パネルディスカッション

テーマ「ケーブルテレビの現状と可能性」

<パネリスト>

- ・上智大学 文学部新聞学科 教授 音 好 宏 氏
- ・若林ビジネスサポート 代表 若 林 宗 男 氏
- ・株式会社長崎ケーブルメディア 放送部長 大 野 陽 一 郎 氏

参加費
無料

※事前お申し込みの
必要はありません。

主 催 / 長崎県立大学

〔お問い合わせ先〕

長崎県立大学シーボルト校

総務企画課 担当:藤井

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

TEL:095-813-5500 FAX:095-813-5220



～長崎県立大学国際社会学部開設記念フォーラム～

「グローバル時代の地域メディア～その未来と可能性～」

メディア技術の発展を背景に、いま、地域メディアのあり方が問われています。情報通信ネットワークの普及発達によって、地域メディアによる記事や番組が、そのサービスエリアを越えて、全国、そして、世界に、容易に展開できるようになりました。

例えば、地上テレビ放送の難視聴対策として登場したケーブルテレビは、様々な役割を担いつつあります。インターネット・サービスに象徴されるように、地域の情報通信基盤を担う一方で、ケーブルテレビで制作した地域向けの番組が、コミュニティ・チャンネルの閲覧サイト「じもテレ」を介して、地域を越えて提供できるようになりつつあります。また、4Kコンテンツの制作や、海外見本市への番組出品などに挑戦するケーブルテレビ局も登場しています。

本フォーラムでは、グローバル化、ネットワーク化、高度化を遂げる地域メディアの現状と、その可能性を検証します。

パネリストプロフィール

上智大学 文学部新聞学科 教授 **音 好 宏 氏**

1961年、札幌市生まれ。上智大学大学院 博士課程修了。日本民間放送連盟研究所所員、コロンビア大学客員研究員などを経て、2007年より現職。専門は、メディア論、情報社会論。上智大学メディア・ジャーナリズム研究所長、衆議院総務調査局客員研究員、放送批評懇談会理事長などを兼務。



若林ビジネスサポート 代表 **若 林 宗 男 氏**

富山県出身、国際基督教大学卒業。1982年にテレビ東京のニューヨーク支社を開き初代支社長を務めた後、1988年に経済番組「ワールドビジネスサテライト」の企画書を書き、立ち上げ、初代ニュースキャスターを務めた。4年前に福岡に家族とともに引越し、豊富なメディア経験と広報力で、中小企業と地域社会をサポートする若林ビジネスサポートを設立。九州大学産学官連携本部アドバイザー、一般社団法人ふるさと創成の会執行役員などを務める。



株式会社長崎ケーブルメディア 放送部長 **大 野 陽 一 郎 氏**

1955年、長崎県島原市生まれ。慶應義塾大学卒業後、1978年NBC長崎放送入社。制作部長、報道部長、報道制作局長、テレビ制作センター長などを歴任し、ドキュメンタリーや情報番組など様々なテレビ番組を制作、プロデュース。2010年から株式会社長崎ケーブルメディア放送部長。現在、日本ケーブルテレビ連盟コンテンツ特別委員会・番組制作サブワーキンググループリーダーを務める。

